

医学総論

責任者・コーディネーター	臨床医化学講座 那谷 耕司 教授		
担当講座・学科(分野)	臨床医化学講座、解剖学講座(医学部)、生理学講座(医学部)、微生物学講座(医学部)、病理学講座(医学部)、法医学講座(医学部)、内科学講座(医学部)、外科学講座(医学部)、神経精神科学講座(医学部)、放射線医学講座(医学部)、救急医学講座(医学部)、口腔機能保存学講座(歯学部)、口腔保健育成学講座(歯学部)		
担当教員	(講義日程順) 佐藤(洋)教授、人見教授、久保川教授、大塚講師、澤井教授、吉野准教授、鈴木教授(医学部長)、江原教授、山内教授、若林教授、青木准教授、出羽教授、米満教授、八重柏准教授		
対象学年	第1学年	期間	後期
区分	講義	時間数	21時間
単位数	1単位		

■ 学習方針（講義概要等）

今日の医学・歯学は、基礎医学・社会医学と臨床医学のうえに成り立っている。「医学総論」では、医学部・歯学部の教員による基礎医学、社会医学、臨床医学の講義により、医学・歯学の現場での「診療・研究・教育」について学び、薬学との関わりについて理解を深める。

■ 一般目標（GIO）

医学・歯学の教育・研究、医療の現場で活躍している教官による講義を通して、基礎医学・社会医学・臨床医学を体系的に学び、医療人に求められる、知識、技能、態度、倫理を身に付ける。

■ 到達目標（SBO）

1. 基礎医学・社会医学・臨床医学の基本概念を学び医療のしくみを知る。
2. 医療に求められる技能、態度、倫理、安全性を理解できる。
3. 現代医療の現状と役割について理解できる。
4. 体と心の仕組みを学び、病気が患者に及ぼす影響について概説できる。
5. 様々な疾病の種類及びその症状とそれらに対する薬物治療について列挙できる。
6. 診察から治療までの流れを理解し、その中で薬剤師が果たす役割について概説できる。
7. 歯と健康の関わりについて概説できる。
8. チーム医療に求められるコミュニケーション能力の重要性を理解できる。

■ 講義日程

【(矢) 東 1-A 講義室】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
9/ 9	金	3	解剖学講座 細胞生物学分野	佐藤 洋一 教授	体のしくみ(1)〔構造〕
9/16	金	3	解剖学講座 人体発生学分野	人見 次郎 教授	体のしくみ(2)〔組織〕
9/27	火	1	生理学講座 器官生理学分野	久保川 学 教授	体のしくみ(3)〔機能〕
9/30	金	3	神経精神科学講座	大塚 耕太郎 講師	心のしくみ
10/28	金	3	病理学講座 先進機能病理学分野	澤井 高志 教授	病気のしくみ(1)〔腫瘍〕
11/ 4	金	3	微生物学講座 感染症・免疫学分野	吉野 直人 准教授	病気のしくみ(2)〔炎症〕
11/11	金	3	内科学講座 消化器・肝臓内科分野	鈴木 一幸 教授	医療のしくみ(1) 〔内科診断〕
11/18	金	3	放射線医学講座	江原 茂 教授	医療のしくみ(2) 〔画像診断〕
11/25	金	3	内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野	山内 広平 教授	医療のしくみ(3) 〔内科治療〕
12/ 2	金	3	外科学講座	若林 剛 教授	医療のしくみ(4) 〔外科治療〕
12/ 9	金	3	救急医学講座	青木 英彦 准教授	地域と医療
12/16	金	3	法医学講座	出羽 厚二 教授	社会と医療
1/ 6	金	3	口腔保健育成学講座 口腔保健学分野	米満 正美 教授	歯と健康(1)〔予防歯科〕
1/13	金	3	口腔機能保存学講座 歯周病学分野	八重柏 隆 准教授	歯と健康(2)〔歯周病〕

■ 教科書・参考書

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	薬剤師が知っておきたい臨床知識	後藤 光良 三浦 崇則 監修	じほう (定価 2,940 円)	2009
参	やさしい臨床医学テキスト	大野 勲 他 編	日総研出版 (定価 4,620 円)	2008

■ 成績評価方法

講義の出席状況，受講態度とレポートを総合的に評価する。